

ペットも「家族の一員」だから

SDGsラジオを読みましょう！

犬や猫などのペットといっしょに暮らしている人はいますか？

ペットは大切な「家族の一員」ですね。

そこで、住まいづくりの会社「旭化成ホームズ」はペットと人のくらしを研究し、

ペットも人も快適にくらせる家をつくっています。

また、病気やけがに備える「ペット保険」や地震などの災害から守る「ペット防災」を用意したり、動物のお医者さんが家に来てくれるしくみをつくったり、ペットとのくらしが安心して続けられるような工夫も進めています。

さらに、ペットもいっしょに楽しめる旅行を考えたり、保護された犬や猫が新しい家族と出会える場も開いているんですよ。

こうした取り組みは、犬や猫をふくめたいきもの人と人がいっしょにくらす社会づくりになり、「生物多様性」を大切にすることにもつながります。ペットも人も、幸せに。

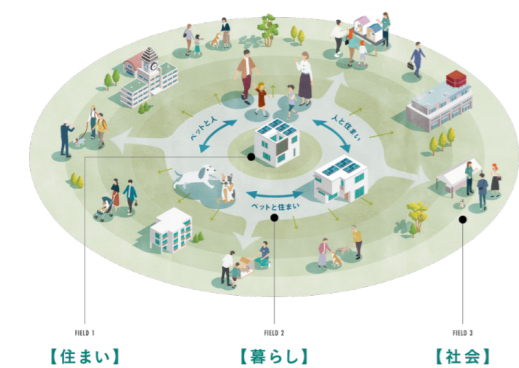
そんな社会をつくるためには、どんなことができるでしょうか？いっしょに考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：旭化成ホームズのペットもくらしやすい家のイメージ（ハーベルハウス公式HPより）

犬や猫などのペットは、大切な「家族の一員」です。最近では、ペットを「飼う」というより、「いっしょにくらす」と考えられることも増えてきています。しかし、ペットがいると旅行に出かけにくかったり、いっしょに行けるお店が少なかったりと、ペットと安心してくらせる社会には、まだまだ不十分です。そこで注目されているのが、ペットと人がいっしょに幸せにくらせる社会をめざす「ペット共生社会」です。住まいづくりの会社「旭化成ホームズ」は、家をつくる会社として、ペット共生社会の実現のためにさまざまな取り組みを進めています。



画像参照：旭化成ホームズのペット共生社会に向けた取り組み（旭化成ホームズ「LONG LIFE総合研究所」公式HPより）

旭化成ホームズでは、「すまい・くらし・社会」という3つの視点から、ペット共生社会に向けた取り組みを行っています。たとえば「すまい」の面では、すべりにくい床や部屋の温度を心地よく保つしくみなど、ペットも人も安心してくらせる家をつくっています。「くらし」の面では、旭化成ホームズの家に住む人に向けて、病気やけがに備える「ペット保険」や動物のお医者さんが家に来てくれるサービス、いっしょに旅行を楽しむ「ペット旅行」など、ペットとのくらしを支える取り組みを行っています。さらに「社会」の面では、保護された犬や猫の譲渡会や、ペットとの防災について学べるイベントも行っています。ペットは身近にいるいきものであり、同じ地球でくらす仲間です。ペットも人も幸せにくらせる社会をつくることは、「生物多様性」を守ることの一步にもなります。

キーワード

ペット共生社会

ペットも、ペットを飼っている人も、そうでない人も、みんなが安心して心地よくくらせる社会のことで。

譲渡会

さまざまな理由で飼い主がいなくなり保護された犬や猫が、新しい家族に出会える場のことで。

生物多様性

地球にはさまざまな種類のいきものがいて、たがいにに関わりながら生きています。このようないきものつながりのことを生物多様性といっています。

対象ゴール



みなさんにできること！

ペット共生社会をつくるために何ができるかを考えてみましょう。

おさらい

- ペットも人もいっしょに幸せにくらせる社会のことを「ペット共生社会」という。
- 「旭化成ホームズ」では、ペット共生社会実現のためにさまざまな取り組みを行っている。
- ペットは、大切な家族の一員であり、地球でいっしょにくらす仲間でもある。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

